

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第84回）に係る面談
2. 日時：令和2年10月13日（火） 15時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、田上係長、久川係員

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、坂本原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

小野CDO他プロジェクトマネジメント室4名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第84回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- 3号機PCV水位低下に向けた対応状況について
- 汚染水発生抑制対策の進捗及び検討状況並びに建屋毎の地下水及び雨水流入量について
- 2号機原子炉注水停止試験結果について
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定後の妥当性確認の実施状況について
- 3号機 燃料取り出しの実施状況について
- 1/2号機SGTS配管撤去に向けた今後の調査方針について

○原子力規制庁より、以下についてコメントした。

- 建屋滞留水処理等の進捗状況については、大雨時の影響等も含め、床面露出状態の維持に向けた検討状況について議論することとしたい。
- 3号機PCV水位低下に向けた対応状況について、PCV取水設備の設置による目標水位について図に分かりやすく示し、説明を追加すること。
- 2号機において原子炉注水を長期に停止した場合の温度上昇の評価については、事前に示してもらった評価条件を基に、当庁においても評価を実施したところで

ある。その結果、評価には変動要因があることが分かってきたため、検討会において具体的に示すこととしたい。

- 長期保守管理計画について、過去に発生した設備・機器に関するトラブルが当該計画に適切に反映されていることを妥当性確認において確認し、必要な見直しを行うこと。

○東京電力より、コメントについて検討の上、検討会に向けて準備を行う旨の回答があった。

6. 資料

- 建屋滞留水処理等の進捗状況について（案）
- 3号機 PCV 水位低下に関わる対応状況について（案）
- 汚染水発生抑制対策の進捗及び検討状況（案）
建屋毎の地下水及び雨水流入量（案）
- 2号機原子炉注水停止試験結果（案）
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定後の妥当性確認の実施状況について（案）
- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）
- 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた今後の調査方針について（案）